

C-04

# アプリが病気を治療する時代へ、ドコモが取組むデジタル治療

## 着目した世の中の課題

脂質異常症は、国内で2,000万人もの患者がいると推定されており、適切な治療を行うことで動脈硬化疾患の予防につながりますが、医師から患者への指導は数か月に1度の外来受診時のみに限定されるため、治療で重要となる生活習慣の改善が十分にサポートできない課題があります。

## 解決となる取組み

### 概要

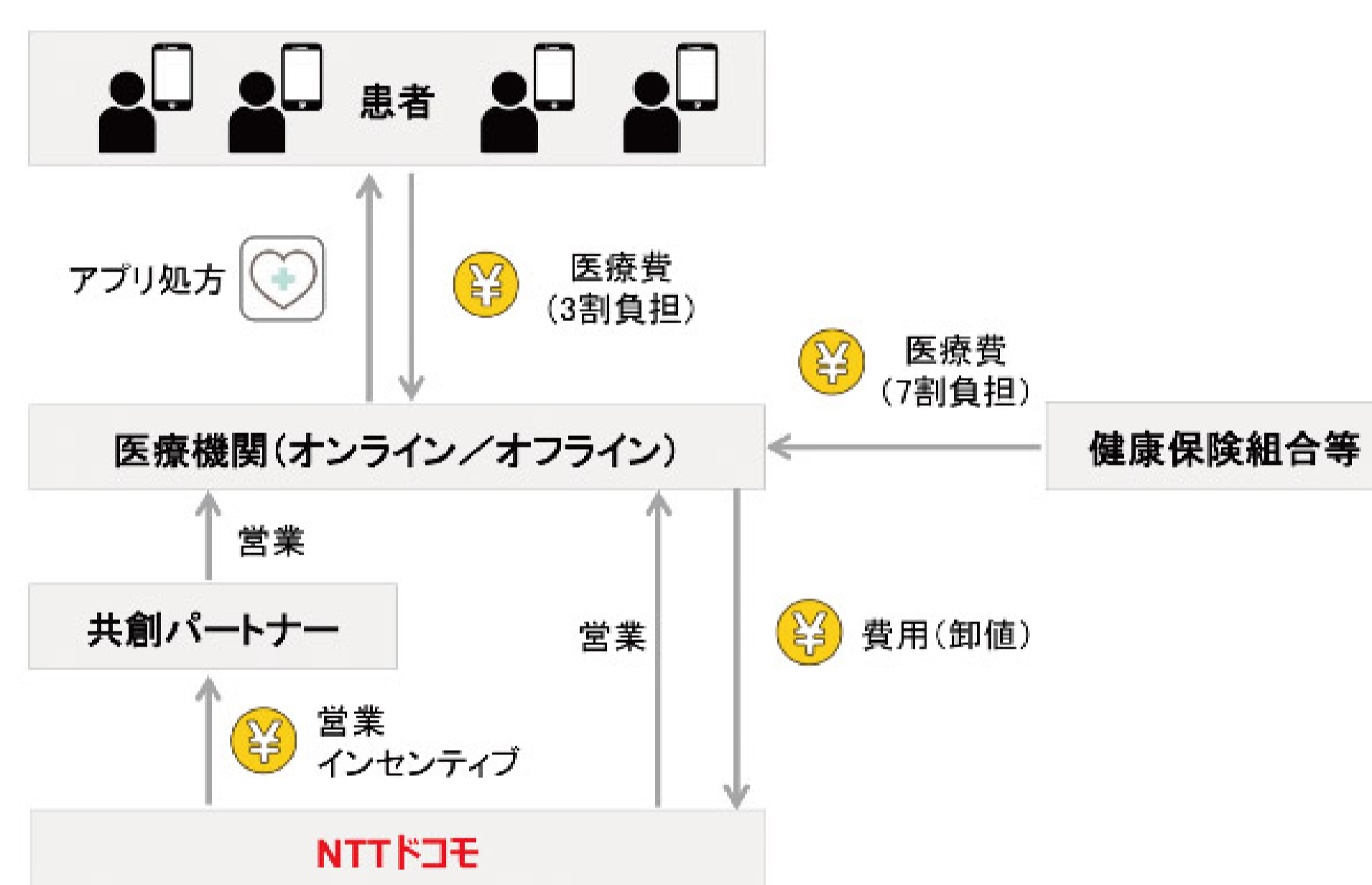
スマートフォンを活用して、脂質異常症の患者の生活習慣を把握し個別かつリアルタイムに改善を促すことができれば、治療効果を高め、動脈硬化疾患といった重篤な疾患の予防につながることが期待されます。また医師にとっては、ブラックボックスだった患者の治療空白期間を把握できるため、診療の質向上につながることが期待されます。

### 取組みを支える技術

運動や食事といった生活習慣の改善をサポートするために、機械学習を用いた行動変容技術を活用して自己効力感を高め、歩行促進や運動・食事習慣の定着化を図ります。またゲーミフィケーション要素を加えることで、継続的に行動変容を促す仕組みを実現しています。



## ビジネスモデル



共創  
パートナー

千葉大学医学部附属病院 糖尿病・代謝・内分泌内科

SDGs



患者にとっては治療効果の向上や健康寿命の延伸、  
医師にとっては診療の質の向上を通じた患者の満足度向上、  
国にとっては動脈硬化疾患といった重篤な疾患の  
予防を通じた医療費削減につながることが期待されます。

病気の重症化や服薬量を抑え、医療費の抑制をめざします。